



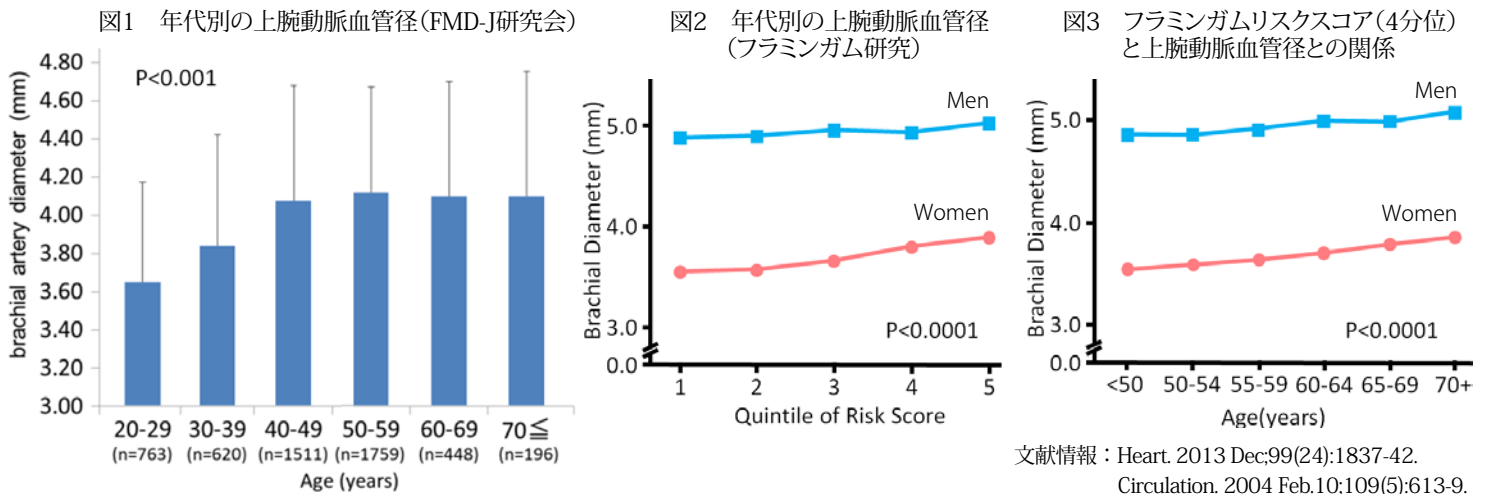
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
FMD News Vol.10をお届けいたします。

## 8月のTOPICS

- 各年代における上腕動脈血管径とリスクとの関係
- 上腕動脈血管径の日内変動はFMD値に影響を及ぼすのか？

### ■ 各年代における上腕動脈血管径とリスクとの関係

上腕動脈血管径は加齢とともに大きくなるのが国内でのFMD多施設共同研究で報告されており(図1)、2004年に発表されたフラミンガム研究においても同様な結果が示されています(図2)。また、心血管リスクが高くなるほど血管径が大きくなるのが報告されており(図3)、血管径とFMDとの間には負の相関があることが知られています。では実際の測定において、同一被験者での血管径の変動はFMD値に影響を与えるのでしょうか？



### ■ 上腕動脈血管径の日内変動はFMD値に影響を及ぼすのか？

非喫煙者の健常男性 50 名(平均年齢 20.8±0.3)を対象に、朝食前の AM7:00 と食後 4 時間以上経過した PM5:00、PM8:00 に低脂肪食を摂った後の PM10:00 の 3 回、上腕動脈血管径(BAD)および FMD を測定した。上腕動脈血管径は AM7:00(3.8±0.1mm)と最も小さく、PM5:00(3.9±0.1mm)、PM10:00(4.0±0.1mm)にかけて徐々に大きくなったが、FMD は AM7:00(5.3±0.5%)、PM5:00(5.1±0.6%)、PM10:00(5.1±0.6%)と有意な差は認められなかった。

